

2023年版 環境経営レポート



和食ダム管理棟等建築主体工事

自 2023年07月01日
至 2024年06月30日

発行年月日 2024年 10月 31日

第一建設株式会社

目 次

1. 組織の概要	・ ・ ・ 3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	・ ・ ・ 4
3. 環境経営方針	・ ・ ・ 5
4. 環境管理組織体制	・ ・ ・ 6
5. 環境経営活動への取組の全体概要	・ ・ ・ 7
6. 環境経営目標	・ ・ ・ 8
7. 環境経営活動計画	・ ・ ・ 10
8. 環境経営目標の実績	・ ・ ・ 11
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価	・ ・ ・ 17
10. 次年度の取組内容	
（1）環境経営目標	・ ・ ・ 18
（2）環境経営活動計画	・ ・ ・ 20
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ 21
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	・ ・ ・ 24
13. 具体的な取組状況	・ ・ ・ 25
14. その他の取組	・ ・ ・ 27

発行日： 6 年 10 月 31 日

発行責任者：環境管理責任者 島崎 実

組織の概要

【事業所名】 第一建設株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 島崎 実

【所在地】 本社 〒780-8040 高知県高知市神田2111番地
倉庫 同上

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

- ・ 環境管理責任者氏名 代表取締役
- ・ 連絡先担当者 経 理
- ・ 連絡先 T E L : 088-855-6223
F A X : 088-855-6224
E-mail daiitikensetu@nifty.com

【事業活動の内容】

- ・ 建設業 施工、耐震工事、リフォーム工事

【許認可】

- ・ 一般建設業許可 高知県知事許可（般-4）第5047号
有効年月日 令和4年8月31日～令和9年8月30日
許可業種

建築工事業 大工工事業 左官工事業 とび・土工工事業
石工事業 屋根工事業 タイル・レンガ・ブロック工事業
鋼構造物工事業 鉄筋工事業 板金工事業 ガラス工事業
塗装工事業 防水工事業 内装仕上工事業 熱絶縁工事業
建具工事業 解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和57年9月20日設立
資本金 35,000千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
完成工事高 (千円)	215,169	247,036	171,296
従業員数 (名)	5	5	4
事業所延べ床面積 本社 (m ²)	57	57	57
事業所延べ床面積 倉庫 (m ²)	60	60	60

従業員数は、6月30日現在

会計年度 7月1日～6月30日

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

第一建設株式会社 全社(全組織、全活動、全従業員)

本社 高知県高知市神田2111番地 （常駐者： 4名）

【対象事業】建設業

【レポートの対象期間】

2023年7月～2024年6月

【環境経営レポートの発行日】

2024年10月31日発行

【次回環境活動レポートの発行予定日】

2025年10月発行予定

【作成責任者】

環境管理責任者

代表取締役 島崎 実

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

第一建設株式会社は、建設工事を基本とする全ての事業活動を通じて、環境に及ぼす影響について考え、環境負荷の低減はもとより、地球環境の保全、環境との調和及び環境負荷の低減の為、会社全体が一丸となり環境への配慮に取り組み、次世代を担う子供達へ住みよい環境を残す為、環境負荷の削減に取り組み、継続的改善による環境経営を行っていきます。

【基本方針】

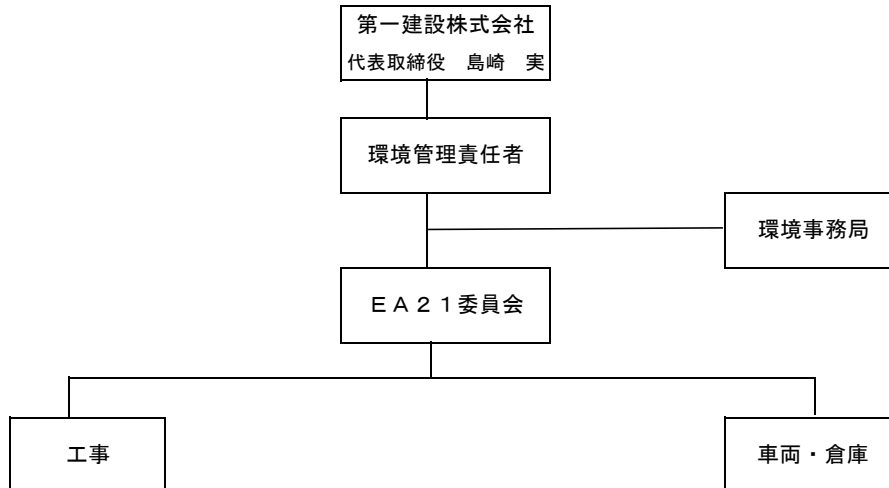
1. 設計・施工にあたり、お客様やその関係者に対し、省資源、省エネルギー、環境負荷の削減に役立つ提案を積極的行います。
2. 環境関連法規等を遵守します。
3. 事業活動による環境負荷を低減するために以下の活動に努めます。
 - 1) 電力使用量の削減による二酸化炭素の排出量を削減します。
 - 2) 化石燃料使用量の削減による二酸化炭素の排出量を削減します。
 - 3) 廃棄物の発生抑制・削減、リサイクルの促進に努めます。
 - 4) 水使用量を削減します。
 - 5) 資材、事務用品の調達にグリーン購入を促進します。
 - 6) 建設工事における騒音、振動の低減を図ります。
 - 7) 環境に配慮した工事、環境負荷の少ない工事を行っていきます。
4. 環境経営方針を全従業員に周知徹底致します。
5. 環境経営レポートを作成し、外部に公表致します。
6. 社会貢献活動を推進します。
7. SDGsへの取り組みを推進します。

制定日 2017年9月1日

改定日 2021年7月1日

第一建設株式会社
代表取締役 **島崎 実**

環境経営組織体制



建設業 建築工事の設計、施工、耐震、リフォーム工事

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、人材の準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制の承認 ・代表者による評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・問題点の是正、改善に必要な取り組みを行う
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック ・環境経営目標、環境経営計画案、環境管理組織体制の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
EA21委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
工事	・環境管理システムの構築、実施、管理。 ・環境経営目標の設定、環境経営計画書作成及び代表者への報告。 ・教育訓練の実施。 ・外部コミュニケーションへの運営管理。 ・緊急事態訓練の実施。
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的積極的に環境活動に参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

○燃料使用量、電力使用量については、環境目標に対して大幅な改善が見られました。

この結果、二酸化炭素排出量の大幅な削減ができました。

○環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（1回）、近隣の清掃活動（2回）実施しております。



<第一建設株式会社 の物質フロー>（2023年度）

<INPUT>

燃料2,513L

電力7,558 kWh

用水33.7m³

原材料0 t

第一建設株式会社
の事業活動

<OUTPUT>

CO₂ 10,169 kg-CO₂

排水 33.7m³

廃棄物 5.30 t

環境経営目標

(1) 単年度目標 (2023年度) 期間：2023年7月 ～ 2024年6月

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6
売上高		百万円	415	420
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	4,846	4,750
	原単位	(ℓ/百万円)	11.68	11.31
電力使用量	総量	(kWh)	8,735	8,550
	原単位	(kWh/百万円)	21.05	20.36
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	16,445	15,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	39.63	35.71
用水使用量	総量	(m ³)	58.8	58.0
	原単位	(m ³ /百万円)	0.14	0.14
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	51.0	49.5
	原単位	(kg/百万円)	0.12	0.12
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	11,240	11,050
	原単位	(kg/百万円)	27.08	26.31
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	6.70	20.00
グリーン購入	総量	(%)	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(3件/3件)	100
環境美化活動	総量	(回)	1	2

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2020年度実績)
(令和4年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.574(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(100%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事(工事高3,000万円)
 - ・ 県内産資材の優先使用
 - ・ 環境を配慮した製品資材の優先使用
 - ・ 木製看板、木製型枠の使用
 - ・ 防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定
 - ・ 地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討
 - ・ 防塵シートや散水による粉塵拡散防止
 - ・ 病院や学校周辺を回避する迂回路や資材運搬路の計画
 - ・ 工事用車両による走行粉塵などの防止

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績（基準年）	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
売上高		百万円	415	420	420	420
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	4,846	4,750	4,700	4,680
	原単位	(ℓ/百万円)	11.68	11.31	11.19	11.13
電力使用量	総量	(kWh)	8,735	8,550	8,500	8,450
	原単位	(kWh/百万円)	21.05	20.36	20.24	20.14
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	16,445	15,000	14,500	14,500
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	39.63	35.71	34.52	34.35
用水使用量	総量	(m ³)	59	58	56	56
	原単位	(m ³ /百万円)	0.14	0.14	0.13	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	51	50	50	50
	原単位	(kg/百万円)	0.12	0.12	0.12	0.12
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	11,240	11,050	11,000	10,950
	原単位	(kg/百万円)	27.08	26.31	26.19	26.06
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	6.70	20.00	25.00	27.00
グリーン購入	総量	(%)	100	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(3件/3件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	1	2	2	2

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（2020年度実績）
（令和4年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0. 574（kg-CO₂ / kWh）を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（100%）
- * 3. 環境負荷の少ない工事（工事高3,000万円）
 - ・ 県内産資材の優先使用
 - ・ 環境を配慮した製品資材の優先使用
 - ・ 木製看板、木製型枠の使用
 - ・ 防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定
 - ・ 地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討
 - ・ 防塵シートや散水による粉塵拡散防止
 - ・ 病院や学校周辺を回避する迂回路や資材運搬路の計画
 - ・ 工事用車両による走行粉塵などの防止

7. 環境経営計画

(2023年度) 期間：2023年7月 ～ 2024年6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量	燃料使用量	○アイドリングストップ	武内 明彦	通年
削減	削減	○アクセル開閉度80%で使用荷台に余計な荷物を載せない	武内 明彦	通年
		○急発進、急ブレーキの禁止	武内 明彦	通年
		○タイヤ圧の点検、車両整備点検	武内 明彦	
		○車両の安全走行、車両に無駄なものを積まない	武内 明彦	通年
	電力使用量 削減	○こまめに電気を消す	島崎 妃佐	通年
		○長時間使用しないものはコンセントを抜く	島崎 妃佐	通年
		○エアコンの設定温度（冷房28℃、暖房20℃）	島崎 妃佐	通年
○電子機器のエコ設定		島崎 妃佐	通年	
廃棄物削減	産業廃棄物	○現場内での分別	島崎 実	通年
		○適切な施工による産廃排出量の抑制	島崎 実	通年
		○マニフェストの適正管理	島崎 実	通年
	一般廃棄物	○連絡等にはPCのメールを使い、用紙の節約をする	島崎 妃佐	通年
		○コピーのミスをなくし、裏紙使用をする	島崎 妃佐	通年
		○ダンボール、新聞紙、コピー用紙等を再生業者へ	島崎 妃佐	通年
		○ペーパーレス化	島崎 妃佐	通年
用水使用量削減		○節水シールを貼る	島崎 妃佐	通年
（排水量削減）		○水道栓の閉め忘れ防止	島崎 妃佐	通年
		○洗車用水の節約	島崎 晃誠	通年
グリーン購入		○グリーン製品の優先使用	島崎 妃佐	通年
		○従業員への周知徹底	島崎 妃佐	通年
環境負荷の少ない工事		○県内産資材の優先使用	手嶋 一男	通年
		○環境を配慮した製品資材の優先使用	手嶋 一男	通年
		○木製看板、木製型枠の使用	手嶋 一男	通年
		○防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定	手嶋 一男	通年
		○地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討	手嶋 一男	通年
		○防塵シートや散水による粉塵拡散防止	手嶋 一男	通年
		○病院や学校周辺を回避する迂回路や資材運搬路の計画	手嶋 一男	通年
		○工事用車両による走行粉塵などの防止	手嶋 一男	通年
		○現場での環境活動のパトロール	手嶋 一男	通年
環境に配慮した施主様への提案		○石油などの化石エネルギーに代わる地球にやさしい太陽光発電設置の提案	島崎 実	通年
		○保温性・断熱性・遮音性に優れたペアガラスの提案	島崎 実	通年
		○人体に有害な化学物質を含まない材料の提案（珪藻土・無垢の床材など）	島崎 実	通年
環境美化活動		○ロードボランティアへの参加	島崎 実	通年

環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

			基準年	2023年度	2023年度	実績値／目標値	評価
項目	総量・原単位	単位	2020年度	目標	実績	(%)	
			2020.7-2021.6	2023.7-2024.6	2023.7-2024.6		
売上高		百万円	415	420	171	40.7	×
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	4,846	4,750	2,513	52.9	○
	原単位	(ℓ/百万円)	11.68	11.31	14.70	130.0	×
電力使用量	総量	(kWh)	8,735	8,550	7,558	88	○
	原単位	(kWh/百万円)	21.05	20.36	44.20	217.1	×
C O ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	16,445	15,000	10,169	67.8	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	39.63	35.71	59.47	166.5	×
用水使用量	総量	(m ³)	58.8	58.0	33.7	58.1	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.14	0.14	0.20	142.7	×
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	51	50	39.9	80.5	○
	原単位	(kg/百万円)	0.12	0.12	0.23	197.7	×
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	11,240	11,050	5,268	48	○
	原単位	(kg/百万円)	27	26	31	117.09	×
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	6.7	20.0	26.7	133.5	×
グリーン購入量	総量	(%)	100	100	100	100	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(3件/3件)	100	100(2件/2件)	100	○
環境美化活動	総量	(回)	1	2	2	100	○

* 1. 電力のC O₂ 発生量については、電気事業者別のC O₂ 排出係数（2020年度実績）

（令和4年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0. 5 7 4（kg-C O₂ /k W h）を使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（100%）

* 3. 環境負荷の少ない工事（工事高3, 000万円

- ・ 県内産資材の優先使用
- ・ 環境を配慮した製品資材の優先使用
- ・ 木製看板、木製型枠の使用
- ・ 防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定
- ・ 地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討

* 4. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

工事高は前年度より低いものの、ガソリン・電力・用水使用量及びCO₂・産業廃棄物排出量等は、目標数値を下回ることができた。原単価は売上高が* 目標より大幅に減少したので増加となってしまった。

＜過去の実績＞

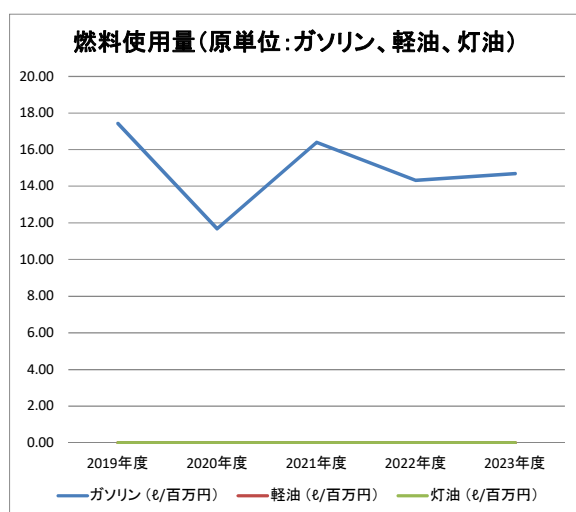
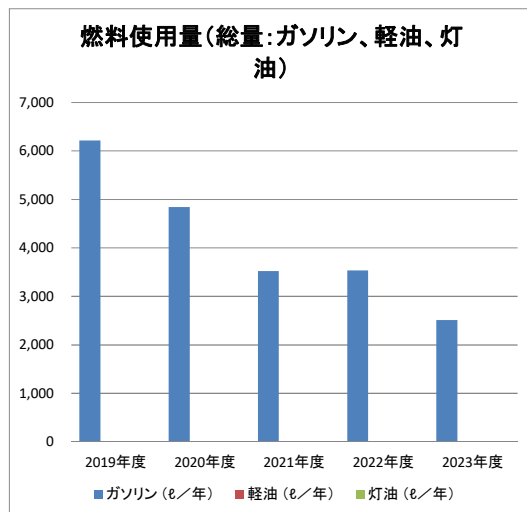
項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 基準年	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高		百万円	357	415	215	247	247
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,222	4,846	3,527	3,537	2,513
	原単位	(ℓ/百万円)	17.43	11.68	16.41	14.32	14.70
電力使用量	総量	(kWh)	8,533	8,735	7,663	7,547	7,558
	原単位	(kWh/百万円)	23.90	21.05	35.64	30.55	44.20
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	18,641	16,931	12,582	13,096	10,169
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	52.22	40.80	58.52	53.02	59.47
用水使用量	総量	(m ³)	2.9	58.8	33.9	31.5	33.7
	原単位	(m ³ /百万円)	0.01	0.14	0.16	0.13	0.20
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	57.40	51.00	44.30	39.44	39.85
	原単位	(kg/百万円)	0.16	0.12	0.21	0.16	0.23
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	8,100	11,240	287,494	28,095	5,268
	原単位	(kg/百万円)	22.69	27.08	1,337.18	113.74	30.81
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	17.16	6.70	96.00	58.50	26.70
グリーン購入	総量	(%)	100	100	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(3件/3件)	100(3件/3件)	100	100(2件/2件)	100(2件/2件)
環境美化活動	総量	(回)	1	1	3	3	2

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2019年度	6,222	0	0
2020年度	4,846	0	0
2021年度	3,527	0	0
2022年度	3,537	0	0
2023年度	2,513	0	0

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2019年度	17.43	0	0
2020年度	11.68	0	0
2021年度	16.41	0	0
2022年度	14.32	0	0
2023年度	14.70	0	0

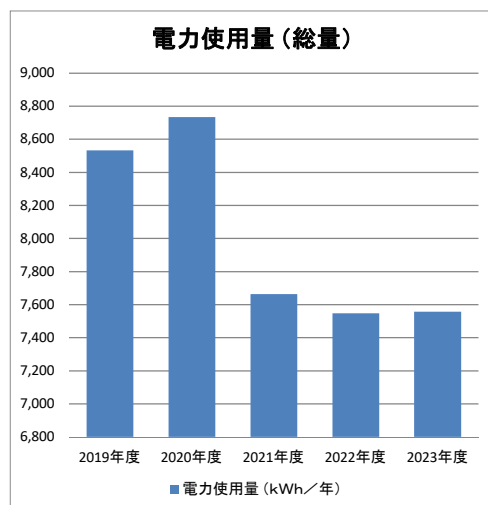


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	8,533
2020年度	8,735
2021年度	7,663
2022年度	7,547
2023年度	7,558

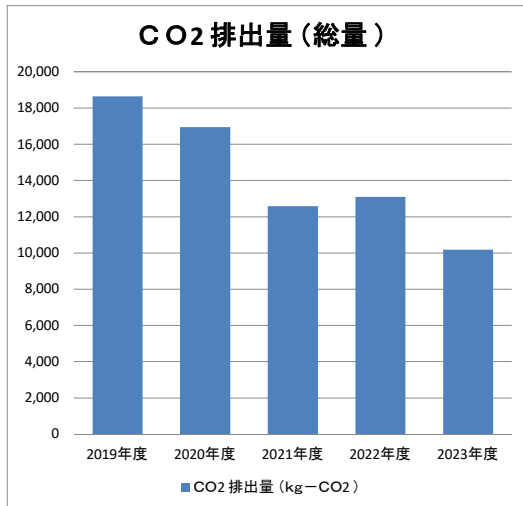
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	23.90
2020年度	21.05
2021年度	35.64
2022年度	30.55
2023年度	44.20



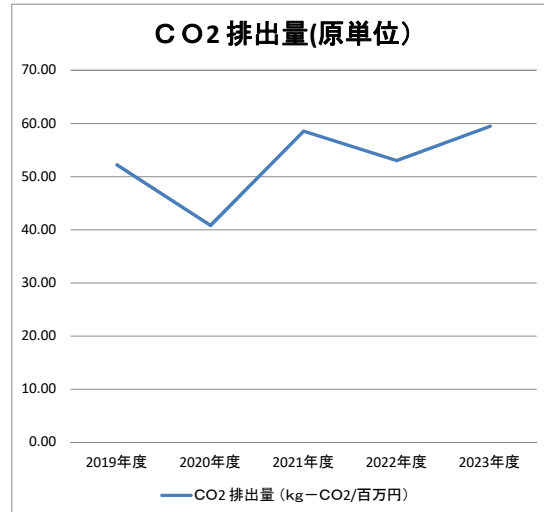
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2019年度	18,641
2020年度	16,931
2021年度	12,582
2022年度	13,096
2023年度	10,169



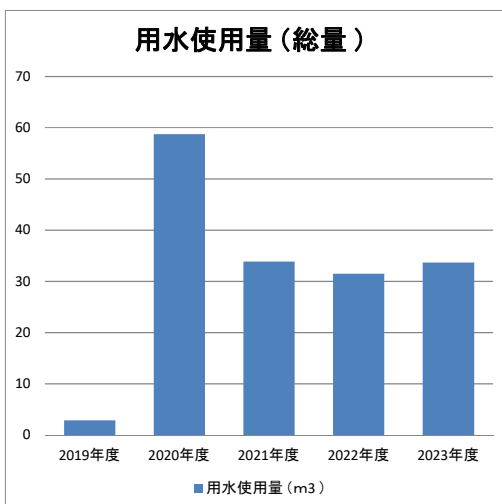
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2019年度	52.22
2020年度	40.80
2021年度	58.52
2022年度	53.02
2023年度	59.47



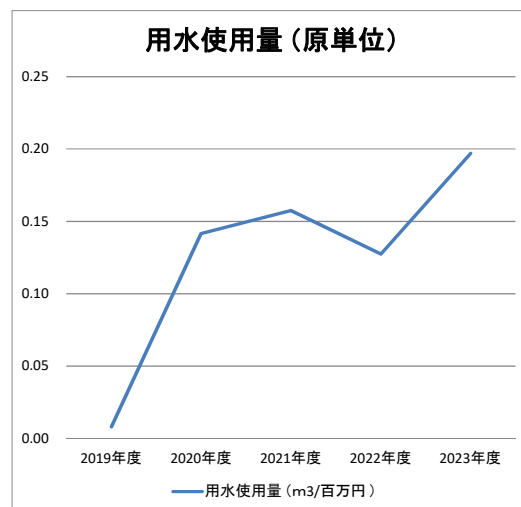
用水使用量 (総量 : m³)

年度	用水使用量 (m ³)
2019年度	2.9
2020年度	58.8
2021年度	33.9
2022年度	31.5
2023年度	33.7



用水使用量 (原単位 : m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	0.01
2020年度	0.14
2021年度	0.16
2022年度	0.13
2023年度	0.20

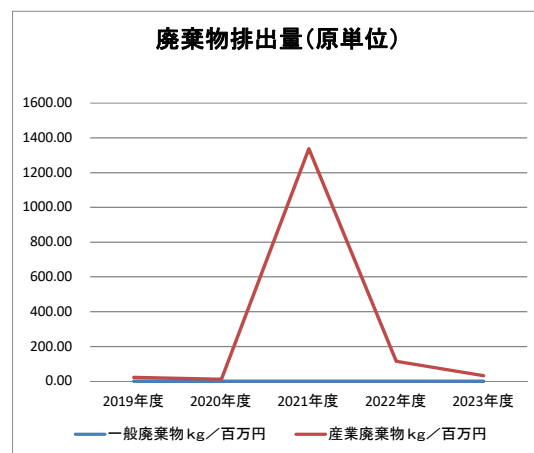
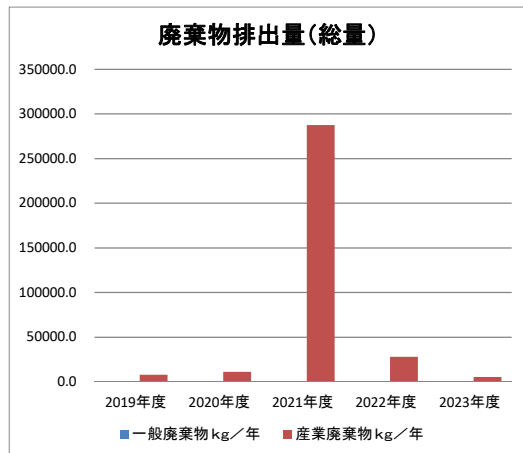


廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg/年
 単位:産業廃棄物 kg/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 kg/年
2019年度	57.4	8,100
2020年度	51.0	11,240
2021年度	44.3	287,494
2022年度	39.4	28,095
2023年度	39.9	5,268

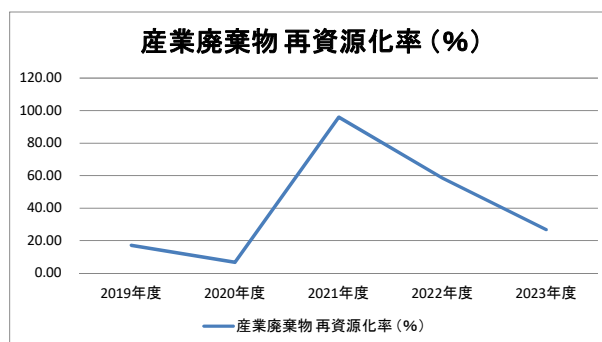
廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg/百万円
 単位:産業廃棄物 kg/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 kg/百万円
2019年度	0.16	22.69
2020年度	0.12	11.68
2021年度	0.21	1337.18
2022年度	0.16	113.74
2023年度	0.23	30.81



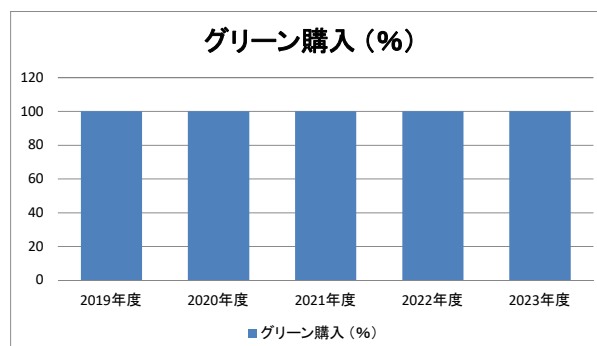
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2019年度	17.16
2020年度	6.70
2021年度	96.00
2022年度	58.50
2023年度	26.70



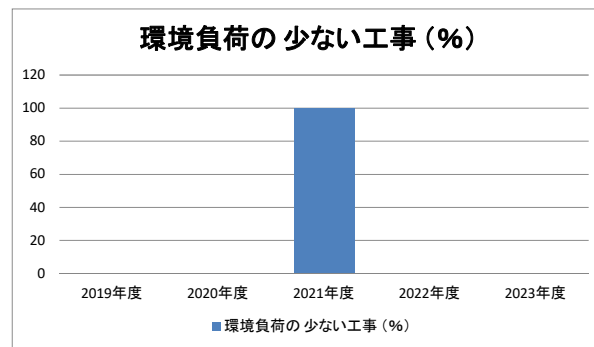
グリーン購入 (%)

年度	グリーン購入 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



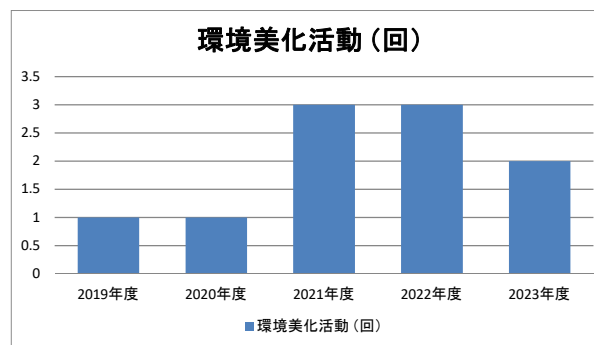
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2019年度	100(3件/3件)
2020年度	100(3件/3件)
2021年度	100
2022年度	100(2件/2件)
2023年度	100(2件/2件)



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2019年度	1
2020年度	1
2021年度	3
2022年度	3
2023年度	2



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

(2023年度) 期間：2023年7月 ～ 2024年6月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量	燃料使用量	○アイドリングストップ	達成	○	無し
削減	削減	○アクセル開閉度80%で使用荷台に余計な荷物を載せない	達成	○	無し
		○急発進、急ブレーキの禁止	達成	○	無し
		○タイヤ圧の点検、車両整備点検	達成	○	無し
		○車両の安全走行、車両に無駄なものを積まない	達成	○	無し
		電力使用量	○こまめに電気を消す	達成	○
	削減	○長時間使用しないものはコンセントを抜く	達成	○	無し
		○エアコンの設定温度（冷房28℃、暖房20℃）	達成	○	無し
		○電子機器のエコ設定	達成	○	無し
廃棄物削減	産業廃棄物	○現場内での分別	達成	○	無し
		○適切な施工による産廃排出量の抑制	達成	○	無し
		○マニフェストの適正管理	達成	○	無し
	一般廃棄物	○連絡等にはPCのメールを使い、用紙の節約をする	達成	○	無し
		○コピーのミスをなくし、裏紙使用をする	達成	○	無し
		○ダンボール、新聞紙、コピー用紙等を再生業者へ	達成	○	無し
		○ペーパーレス化	達成	○	無し
用水使用量削減		○節水シールを貼る	達成	○	無し
（排水量削減）		○水道栓の閉め忘れ防止	達成	○	無し
		○洗車用水の節約	達成	○	無し
グリーン購入		○グリーン製品の優先使用	達成	○	無し
		○従業員への周知徹底	達成	○	無し
環境負荷の少ない工事		○県内産資材の優先使用	達成	○	無し
		○環境を配慮した製品資材の優先使用	達成	○	無し
		○木製看板、木製型枠の使用	達成	○	無し
		○防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定	達成	○	無し
		○地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討	達成	○	無し
		○防塵シートや散水による粉塵拡散防止	達成	○	無し
		○病院や学校周辺を回避する迂回路や資材運搬路の計画	達成	○	無し
		○工事用車両による走行粉塵などの防止	達成	○	無し
		○現場での環境活動のパトロール	達成	○	無し
環境に配慮した施主様への提案		○石油などの化石エネルギーに代わる地球にやさしい太陽光発電設置の提案	達成	○	無し
		○保温性・断熱性・遮音性に優れたペアガラスの提案	達成	○	無し
		○人体に有害な化学物質を含まない材料の提案（珪藻土・無垢の床材など）	達成	○	無し
環境美化活動		○ロードボランティアへの参加	達成	○	無し

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

1) 単年度目標 (2024年度) 期間：2024年7月 ～ 2025年6月

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2024年度 目標 2024.7-2025.6
売上高		百万円	415	420
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	4,846	4,700
	原単位	(ℓ/百万円)	11.68	11.19
電力使用量	総量	(kWh)	8,735	8,500
	原単位	(kWh/百万円)	21.05	20.24
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	16,445	14,500
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	39.63	34.52
用水使用量	総量	(m ³)	59	56
	原単位	(m ³ /百万円)	0.14	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	51	50
	原単位	(kg/百万円)	0.12	0.12
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	11,240	11,000
	原単位	(kg/百万円)	27.08	26.19
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	7	25
グリーン購入	総量	(%)	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(3件/3件)	100
環境美化活動	総量	(回)	1	2

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（2020年度実績）
（令和4年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0. 574（kg-CO₂ / kWh）を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（100%）
- * 3. 環境負荷の少ない工事(工事高3,000万円)
 - ・県内産資材の優先使用
 - ・環境を配慮した製品資材の優先使用
 - ・木製看板、木製型枠の使用
 - ・防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定
 - ・地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討
 - ・防塵シートや散水による粉塵拡散防止
 - ・病院や学校周辺を回避する迂回路や資材運搬路の計画
 - ・工事用車両による走行粉塵などの防止

2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績（基準年）	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	415	420	420	420
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	4,846	4,700	4,680	4,610
	原単位	(ℓ/百万円)	11.68	11.19	11.13	10.98
電力使用量	総量	(kWh)	8,735	8,500	8,450	8,300
	原単位	(kWh/百万円)	21.05	20.24	20.14	19.76
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	16,445	14,500	14,500	14,300
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	39.63	34.52	34.35	34.01
用水使用量	総量	(m ³)	58.80	56.00	55.70	54.90
	原単位	(m ³ /百万円)	0.14	0.13	0.13	0.13
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	51	50	50	49
	原単位	(kg/百万円)	0.12	0.12	0.12	0.12
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	11,240	11,000	10,950	10,700
	原単位	(kg/百万円)	27.08	26.19	26.06	25.48
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	6.7	25	27	30
グリーン購入	総量	(%)	100	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100(3件/3件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	1	2	2	2

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（2020年度実績）
（令和4年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0. 574（kg-CO₂ / kWh）を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（100%）
- * 3. 環境負荷の少ない工事(工事高3,000万円)
 - ・ 県内産資材の優先使用
 - ・ 環境を配慮した製品資材の優先使用
 - ・ 木製看板、木製型枠の使用
 - ・ 防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定
 - ・ 地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討
 - ・ 防塵シートや散水による粉塵拡散防止
 - ・ 病院や学校周辺を回避する迂回路や資材運搬路の計画
 - ・ 工事用車両による走行粉塵などの防止

10. 次年度の取組内容

(2) 環境経営計画

(2024年度)期間:2024年7月 ～ 2025年6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量	燃料使用量	○アイドリングストップ	武内 明彦	通年
削減	削減	○アクセル開閉度80%で使用荷台に余計な荷物を載せない	武内 明彦	通年
		○急発進、急ブレーキの禁止	武内 明彦	通年
		○タイヤ圧の点検、車両整備点検	武内 明彦	
		○車両の安全走行、車両に無駄なものを積まない	武内 明彦	通年
	電力使用量削減	○こまめに電気を消す	島崎 妃佐	通年
		○長時間使用しないものはコンセントを抜く	島崎 妃佐	通年
		○エアコンの設定温度（冷房28℃、暖房20℃）	島崎 妃佐	通年
	○電子機器のエコ設定	島崎 妃佐	通年	
廃棄物削減	産業廃棄物	○現場内での分別	島崎 実	通年
		○適切な施工による産廃排出量の抑制	島崎 実	通年
		○マニフェストの適正管理	島崎 実	通年
	一般廃棄物	○連絡等にはPCのメールを使い、用紙の節約をする	島崎 妃佐	通年
		○コピーのミスをなくし、裏紙使用をする	島崎 妃佐	通年
		○ダンボール、新聞紙、コピー用紙等を再生業者へ	島崎 妃佐	通年
		○ペーパーレス化	島崎 妃佐	通年
用水使用量削減 （排水量削減）		○節水シールを貼る	島崎 妃佐	通年
		○水道栓の閉め忘れ防止	島崎 妃佐	通年
		○洗車用水の節約	島崎 晃誠	通年
グリーン購入		○グリーン製品の優先使用	島崎 妃佐	通年
		○従業員への周知徹底	島崎 妃佐	通年
環境負荷の少ない工事		○県内産資材の優先使用	手嶋 一男	通年
		○環境を配慮した製品資材の優先使用	手嶋 一男	通年
		○木製看板、木製型枠の使用	手嶋 一男	通年
		○防音シートや防音塀の設置、低音・低振動型建設機械の選定	手嶋 一男	通年
		○地域条件により施工に当たって低騒音・低振動工法の導入検討	手嶋 一男	通年
		○防塵シートや散水による粉塵拡散防止	手嶋 一男	通年
		○病院や学校周辺を回避する迂回路や資材運搬路の計画	手嶋 一男	通年
		○工事用車両による走行粉塵などの防止	手嶋 一男	通年
		○現場での環境活動のパトロール	手嶋 一男	通年
環境に配慮した施主様への提案		○石油などの化石エネルギーに代わる地球にやさしい太陽光発電設置の提案	島崎 実	通年
		○保温性・断熱性・遮音性に優れたペアガラスの提案	島崎 実	通年
		○人体に有害な化学物質を含まない材料の提案（珪藻土・無垢の床材など）	島崎 実	通年
環境美化活動		○ロードボランティアへの参加	島崎 実	通年

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

(環境関係法規)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
	第7条の13項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	島崎 実	○	2024年10月30日
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	島崎 実	○	2024年10月30日
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法） 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守（特定工場等） ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守（特定工場等） ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15 第18条の17 第18条の20 第18条の22 第18条の23	○解体等工事受注者は、石綿含有建材（全ての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。 ○特定粉じん作業開始の14日前までに都道府県知事に届出 解体工事：床面積80m ² 以上 建築物改造：請負代金100万円以上 ○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は特定粉じん排出作業において作業基準を遵守 ○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を適切に行うよう指導 ○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく発注者に書面で報告と記録の作成保管	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
労働安全衛生法 （解体工事）	第88条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長宛に提出（着工14日前までに）	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
	石綿則第5条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長宛に提出（作業前）	必要時			

(2) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
(条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
南国市環境基本条例	第5条 第28条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
南国市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
香南市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
香南市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
香美市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
安芸市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
四万十町環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	島崎 実	○	2024年10月30日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2022年7月 ～ 2023年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																													
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																													
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】																																													
①環境関連法規制等の遵守状況				変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無																																													
法令違反なし。				コメント 継続とする。																																													
②問題点の是正処置及び予防処置の状況																																																	
特に問題点はなし。																																																	
③前回までの代表者の指示事項への対応				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】																																													
代表者からの前回指示事項はない。				変更の必要性: ☒ 有 ☐ 無																																													
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				環境経営目標は、基準年を変更し、長期目標を更新した。																																													
				環境経営項目・環境管理組織体制については変更なし。																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>経営計画 達成状況</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料使用量の削減</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>現場での燃料使用量の削減をより一層高める。</td> </tr> <tr> <td>電力使用量の削減</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>現場での電力使用量の削減をより一層高める。</td> </tr> <tr> <td>CO2 排出量</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>現場での燃料使用管理、効率運転に留意する。</td> </tr> <tr> <td>用水使用量</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>水使用量の削減をより一層高める。</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物排出量</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>引き続き削減に努める。</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物排出量</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>現場での産業廃棄物削減に努め、再資源化率向上を目指す。</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>今後も積極的にグリーン購入を促進する。</td> </tr> <tr> <td>環境配慮資材</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>引き続き環境配慮資材をより一層高める。</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>現場での環境に配慮した工事に取り組、創意工夫提案を図る。</td> </tr> <tr> <td>環境美化活動</td> <td>○</td> <td>達成</td> <td>地域の環境活動への協力をより一層図る。</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント	燃料使用量の削減	○	達成	現場での燃料使用量の削減をより一層高める。	電力使用量の削減	○	達成	現場での電力使用量の削減をより一層高める。	CO2 排出量	○	達成	現場での燃料使用管理、効率運転に留意する。	用水使用量	○	達成	水使用量の削減をより一層高める。	一般廃棄物排出量	○	達成	引き続き削減に努める。	産業廃棄物排出量	○	達成	現場での産業廃棄物削減に努め、再資源化率向上を目指す。	グリーン購入	○	達成	今後も積極的にグリーン購入を促進する。	環境配慮資材	○	達成	引き続き環境配慮資材をより一層高める。	環境負荷の少ない工事	○	達成	現場での環境に配慮した工事に取り組、創意工夫提案を図る。	環境美化活動	○	達成	地域の環境活動への協力をより一層図る。	【その他】	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント																																														
燃料使用量の削減	○	達成	現場での燃料使用量の削減をより一層高める。																																														
電力使用量の削減	○	達成	現場での電力使用量の削減をより一層高める。																																														
CO2 排出量	○	達成	現場での燃料使用管理、効率運転に留意する。																																														
用水使用量	○	達成	水使用量の削減をより一層高める。																																														
一般廃棄物排出量	○	達成	引き続き削減に努める。																																														
産業廃棄物排出量	○	達成	現場での産業廃棄物削減に努め、再資源化率向上を目指す。																																														
グリーン購入	○	達成	今後も積極的にグリーン購入を促進する。																																														
環境配慮資材	○	達成	引き続き環境配慮資材をより一層高める。																																														
環境負荷の少ない工事	○	達成	現場での環境に配慮した工事に取り組、創意工夫提案を図る。																																														
環境美化活動	○	達成	地域の環境活動への協力をより一層図る。																																														
				変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無																																													
				エコアクション21はシステムとして有効に機能している。																																													
【周囲の変化の状況】				【総括】																																													
①環境関連法規制等の順守状況				エコアクションの活動もかなり浸透してきており、社内全体で活動に取り組む姿勢が強まってきている。 燃料使用量、電力使用量、水道使用量、CO2排出量も数値は下がっていき、各現場では、個々の工事内容や規模・施工条件が異なるため、安定して削減し続けることは難しいと思われるが、会社全体で常に環境に配慮した行動を起こし、環境に配慮しながら、今後もエコアクション21を継続させていただきます。																																													
遵守した。																																																	
②外部からの環境に関する苦情や要望																																																	
環境に関係する苦情・要望なし。																																																	
【代表者自ら得た情報】																																																	
特になし。																																																	

1 3. 具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 電気使用量削減



エアコン設定温度(冷房28℃、暖房20℃)
エアコンスイッチにステッカーを貼り
設定温度を啓発しています。



昼休みの消灯
本社事務所の照明を昼休み（11時45分～13時）消灯し、
節電に努めています。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付
本社事務所内の水道蛇口に節水シールを
貼付け、啓発を計っています。

3. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマークの優先購入
事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を
優先して購入しています。

4. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称:和食ダム管理棟等建築主体工事

工事期間:2023年3月8日 ～2024年1月9日

工事場所:高知県安芸市

低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。

排出ガス量削減に努めています。



環境負荷の少ないF☆☆☆☆製品の使用

セメント材・接着剤・塗装剤など、

環境負荷の少ないF☆☆☆☆製品を使用しています。



現場打合せにより、環境負荷の少ない工事を目指す。

月二回、協力会社と共に、現場打合せを行います。

5. 環境美化活動

ロードボランティア活動

鏡川周辺の一斉清掃

活動を行い、鏡川の清掃活動を行いました。

(年2回実施)

14. その他の取組

社会貢献活動への参加

支援イベント名	実施月
春の地域一斉清掃	3月
冬季鏡川一斉清掃	1月

SDGsへの取組

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



対象となる持続可能な開発目標(SDGs)範囲

SDGs NO.	項目	備考
	すべての人に健康と福祉を	高知県ワークバランス推進企業 健康企業経営
	安全な水とトイレを世界中に	水道使用、節水、井戸水利用 環境にやさしい塗料の使用
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ハイブリッド型重機の使用 再生可能エネルギー使用
	働きがいも経済成長も	高齢者雇用、障害者雇用
	産業と技術革新の基盤をつくろう	低燃費、長寿命化、環境負荷低減 ハイブリッド型重機の使用
	人や国の不平等をなくそう	高齢者雇用、障害者雇用
	住み続けられるまちづくりを	CO2 削減、エコドライブ 地域活動への協力 環境負荷の少ない工事の実施
	つくる責任つかう責任	環境負荷の少ない工事の実施 コピー用紙削減
	気候変動に具体的な対策を	CO2 削減、省エネ 環境負荷の少ない工事の実施
	パートナーシップで目標を達成しよう	地域の清掃活動・寄付金等の 地域社会とのパートナーシップ